

ABSTRACT

PROBLEM TO BE SOLVED: To ensure safety of merchandise transactions utilizing a communication network. **SOLUTION:** In this merchandise transactions intermediary system 10, a plurality of seller side information devices 12 (12a to 12n), a plurality of buyer side information devices 16 (16a to 16n) and an intermediation side information processing part 18 are connected to a communication network 14. Sellers register the sales information of merchandise desired to be sold in the server 22 of the part 18 via the devices 12. Buyers select desired merchandise from the sales information displayed on the devices 16 and place an order. When a buyer places an order, an intermediation side information device 20 transfers a merchandise purchase price from the account of a financial institution 30 designated by the buyer to the account of a depository 26 and requests a physical distribution company 28 storing the merchandise of the seller or the buyer to transmit the merchandise.

CLAIMS

No Claims were found.

DESCRIPTION

Text Not Available.

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-195466

(P2001-195466A)

(43) 公開日 平成13年7月19日 (2001.7.19)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	キーワード [*] (参考)
G 0 6 F 17/60 19/00		G 0 7 D 9/00	4 3 1 Z 3 E 0 4 0 4 5 1 C 5 B 0 4 9
	Z E C	G 0 7 F 17/40	5 B 0 5 5
G 0 7 D 9/00	4 3 1 4 5 1	G 0 6 F 15/21	3 3 0 9 A 0 0 1 3 4 0 A

審査請求 有 請求項の数 5 O L (全 9 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-2621(P2000-2621)

(22) 出願日 平成12年1月11日 (2000.1.11)

(71) 出願人 500019915

宮田 宗信

埼玉県川越市岸町1-16-13

(72) 発明者 宮田 宗信

埼玉県川越市岸町1-16-13

(74) 代理人 100091306

弁理士 村上 友一 (外1名)

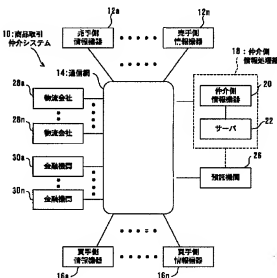
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 商品取引仲介システム

(57) 【要約】

【課題】 通信網を利用した商品取引の安全性を確保する。

【解決手段】 商品取引仲介システム10は、通信網14に複数の売手側情報機器12(12a~12n)と複数の買手側情報機器16(16a~16n)と仲介側情報処理部18が接続してある。売手は、売手側情報機器12を介して売りたい商品の販売情報を仲介側情報処理部18のサーバ22に登録する。買手は、買手側情報機器16に表示された販売情報から所望の商品を選択して発注する。仲介側情報機器20は、買手が商品の発注をする。買手の指定した金融機関30の口座から商品購入代金を預託機関26の口座に振り替え、売手または売手の商品を保管している物流会社28に商品の発送を要請する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 商品の販売情報を出力するとともに、前記商品の受注情報を受信する売手側情報処理部と、前記販売情報が表示可能であるとともに、前記商品の発注情報を出力する買手側情報処理部と、通信網を介して前記売手側情報処理部と前記買手側情報処理部とに接続され、前記売手側情報処理部が出力した前記販売情報を格納する記憶部を備え、前記買手側情報処理部からの要求に基づいて、前記販売情報を買手側情報処理部に出力し、買手側情報処理部からの発注情報を受信して受注情報を前記売手側情報処理部に出力する仲介側情報処理部とを有し、前記仲介側情報処理部は、前記買手側情報処理部からの前記発注情報を受信したときに、買手の指定した口座から商品購入代金を仲介者の管理する口座に振り替えて預託させ、前記売手側情報処理部または前記商品を管理している物流会社を買手の発注した商品の発送要請を通知することと特徴とする商品取引仲介システム。

【請求項2】 商品の販売情報を出力するとともに、前記商品の受注情報を受信する売手側情報処理部と、前記販売情報が表示可能であるとともに、前記商品の発注情報を出力する買手側情報処理部と、仲介者が管理する口座を有する預託機関と、通信網を介して前記売手側情報処理部と前記買手側情報処理部と前記預託機関とに接続され、商品の購入代金が前記預託機関に入金されたと該商品を該売手側情報処理部または該商品を管理している物流会社を買手の発注した商品の発送要請を通知する仲介側情報処理部を有する商品取引仲介システムであって、前記仲介側情報処理部は、前記売手側情報処理部が出力した前記販売情報を格納する記憶部を備え、前記買手側情報処理部からの要求に基づいて、前記販売情報を買手側情報処理部に出力し、買手側情報処理部からの発注情報を受信して受注情報を前記買手側情報処理部に出力し、また買手側情報処理部へ前記預託機関の口座に商品購入代金の振り込み要請を通知することと特徴とする商品取引仲介システム。

【請求項3】 前記仲介側情報処理部は、買手が前記商品を受領したとき、または商品を受領してから予め定めた期間が経過したときに、前記仲介者の管理する口座に預託された前記商品購入代金から前記売手の商品売価に相当する額を売手の指定する口座に振り替えて決済を行なうことを特徴とする請求項1または2に記載の商品取引仲介システム。

【請求項4】 前記仲介側情報処理部は、前記買手が前記商品購入代金の預託後の所定期間内に、前記買手側情報処理部が前記商品の売買中止情報を出力したときに、預託された前記商品購入代金を買手の指定する口座に返

金することを特徴とする請求項1ないし3のいずれか1に記載の商品取引仲介システム。

【請求項5】 前記仲介側情報処理部は、前記売手側情報処理部から前記販売情報を受信したときに、販売情報に含まれている前記商品売価に、所定の経費を加算した前記商品購入代金を演算して前記販売情報に書き込むことを特徴とする請求項1ないし4のいずれか1に記載の商品取引仲介システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、商品の取引を仲介するシステムに係り、特にパソコン通信やインターネット、CATVなどのマルチメディアを利用して行なう商品の売買を仲介する商品取引仲介システムに関する。

【0002】

【従来の技術】近年、インターネットなどの通信技術が急速に発達し、パーソナルコンピュータ(パソコン)などの情報処理装置(情報機器)をインターネットなどの通信網に接続することにより、世界的な通信が容易に行なえるようになっている。そして、この通信網の発達により、通信網を利用して商品を売買することが行なわれるようになっている。

【0003】従来のインターネットやCATVなどの通信網を利用した商品取引の場合、商品の受渡し、代金の決済は、主に次のような方法がとられている。

(1) 買手が商品の発注すると、売手は、買手の指定した口座から購入代金を引き落とし、買手の指定する場所に商品を発送する。

(2) 売手は、買手が商品を発注して購入代金を売手の指定する口座に振り込むと、買手の指定する場所に商品を発送する。

(3) 買手が商品を発注してクレジットカードなどのカード番号を登録すると、売手は商品を発送し、クレジット会社などのカード会社を介して代金を決済する。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】従来の通信網を介した商品取引は、上述したように、買手が購入代金を支払ったのに売手が受注した商品を発送するようになっている。すなわち、通信網を利用した商品取引(いわゆるネット取引)は、代金の先払いが一般的である。このため、買手は、代金を支払ったのに商品を受け取るまでその内容を確認することができず、届いた商品が買手の思っていた(イメージしていた)商品と相違したり、発注した商品と異なっていたり、商品が破損していたりして、しばしばトラブルを生ずる。また、通信網を利用して詐欺行為を行なうものが出現し、買手が代金を支払ったのに商品が届かない、などの問題を生じ、買手側の保護が充分に図られていない。また、カードでの決済については、セキュリティ対策が不十分のために、カード番号や有効期限等の情報が第三者に知られて不正使用され

ることに対する不安が絶えずきまとなっている。すなわち、従来のネット取引は、取引の安全性が十分に確保されておらず、ネット取引の発達を阻害している大きな要因の1つとなっている。

【0005】そこで、商品の発注は、パソコンなどの情報機器によってオンライン上で行ない、商品の受渡しと代金の支払いを、例えば買手の指定したコンビニエンスストアなどで行なう方法を採用する場合もある。しかし、この取引方法は、買手がコンビニエンスストアなどに出向く必要があり、通信網を利用した取引の便利さを大きく減殺する。

【0006】さらに、従来の通信網を利用した商品取引においては、買手(購入者)である消費者が商品を受け取ったのちに、その商品が意図に反するものであるために、発注の撤回(購入申込みの解除)、いわゆるクーリングオフを行なえるような仕組みになっていない。

【0007】本発明は、前記従来技術の欠点を解消するためになされたもので、通信網を利用した商品取引の安全性を確保できるようにすることを目的としている。また、本発明は、買手が商品を確認したのちに購入代金の決済を行なえるようにすることを目的としている。さらに、本発明は、買手が商品を受領したのちに注文の撤回(いわゆるクーリングオフ)をできるようにすることを目的としている。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために、本発明に係る第1の商品取引仲介システムは、商品の販売情報を出力するとともに、前記商品の受注情報を受信する売手側情報処理部と、前記販売情報が表示可能であるとともに、前記商品の発注情報を受信する買手側情報処理部と、通信網を介して前記買手側情報処理部と前記買手側情報処理部とに接続され、前記買手側情報処理部が出力した前記販売情報を格納する記憶部を備え、前記買手側情報処理部からの要求に基づいて、前記販売情報を買手側情報処理部に出し、買手側情報処理部からの発注情報を受信して受注情報、前記買手側情報処理部に出し、前記買手側情報処理部と有し、前記買手側情報処理部は、前記買手側情報処理部からの前記発注情報を受信したときに、買手の指定した口座から商品購入代金を仲介者の管理する口座に振り替えて預託させ、前記買手側情報処理部または前記商品を管理している物流会社は買手の発注した商品の発送要請を通知する、ことを特徴としている。

【0009】また、本発明に係る第2の商品取引仲介システムは、商品の販売情報を出力するとともに、前記商品の受注情報を受信する売手側情報処理部と、前記販売情報が表示可能であるとともに、前記商品の発注情報を受信する買手側情報処理部と、仲介者が管理する口座を有する預託機関と、通信網を介して前記買手側情報処理部と前記買手側情報処理部と前記預託機関とに接続さ

れ、商品の購入代金が前記預託機関に入金されると該商品を該売手側情報処理部または該商品を管理している物流会社は買手の発注した商品の発送要請を通知する仲介側情報処理部を有する商品取引仲介システムであって、前記仲介側情報処理部は、前記買手側情報処理部が出力した前記販売情報を格納する記憶部を備え、前記買手側情報処理部からの要求に基づいて、前記販売情報を買手側情報処理部に出し、買手側情報処理部からの発注情報を受信して受注情報、前記買手側情報処理部に出し、また買手側情報処理部へ前記預託機関の口座に商品購入代金の振り込み要請を通知する、ことを特徴としている。

【0010】仲介側情報処理部は、買手が商品を受領したとき、または商品を受領してから予め定めた期間が経過したときに、仲介者の管理する口座に預託された商品購入代金から、商品の売価に相当する額を売手の指定する口座に振り替えて決済を行なうようにすることができ、また、仲介側情報処理部は、買手が商品購入代金の預託後の所定期間内に、買手側情報処理部が商品の売買中止情報を出力したときに、預託された商品購入代金を買手の指定する口座に返金するようにできる。さらに、仲介側情報処理部は、売手側情報処理部から販売情報を受信したときに、販売情報に含まれている商品の売価に、所定の経費を加算した商品購入代金を算出して販売情報に書き込むようにすることが望ましい。

【0011】

【作用】上記のごとくなっている本発明の第1は、買手が商品が発注し、仲介側情報処理部が売手と買手とから独立した仲介者の管理する口座に、買手の口座から商品購入代金を口座引き落としなどによって振り替えるかして預託させる。仲介側情報処理部は、買手から商品購入代金が所定の口座に預託されたのを確認して売手側に商品の発送を要請する。従って、買手は、売手から独立した仲介者に商品購入代金を預託することにより、購入代金を支払ったのに商品を受け取れないなどの事態を避けることができ、通信網を利用した詐欺などの被害にあらうことなく、買手(消費者)の保護が図れるとともに、商品取引の安全性を確保することができる。

【0012】また、本発明の第2においても、売手から独立した預託機関の仲介者の管理する口座に買手の商品購入代金を振り込まれるようになり、前記と同様に買手の保護が図れて取引の安全性を確保することができる。

【0013】仲介側情報処理部は、買手が商品を受領したとき、または商品を受領してから予め定めた期間が経過したときに、仲介者の口座に預託された商品購入代金から売手の商品の売価に相当する額を売手の指定する口座に振り替えて決済を行なうようにして、売手により、売手は商品の売却による代金を確実に手に入れることができ、取引の安全性が担保される。また、仲介側情報処理

部を、買手が商品購入代金の預託後の所定期間内（例えば買手が商品を受け取ってから八日以内など）に、買手側情報処理部が商品の売買中情報を出したときに、預託された商品購入代金を買手の指定する口座に返金するようにすると、いわゆるクリングオフを通信網上で実現することができ、買手（消費者）の保護が図れ、消費者は安心して取引をするため、通信網を利用した商品取引が活発となる。

【0014】さらに、仲介側情報処理部を、売手側情報処理部から販売情報を受信したときに、販売情報に含まれている商品の売面に、所定の経費（例えば、商品の送料、取引の仲介手数料など）を加算した商品購入代金を演算して販売情報に書き込むようにすると、買手は商品を購入する際に実際に支払う購入代金を容易に知ることができ、安心して取引をすることができ。

【0015】

【発明の実施の形態】本発明に係る商品取引仲介システムの好ましい実施の形態を、添付図面に従って詳細に説明する。図1は、本発明の実施の形態に係る商品取引仲介システムの概略構成を示すブロック図である。

【0016】図1において、商品取引仲介システム（以下、単に仲介システムということがある）10は、複数の売手のそれぞれに設置してあるパソコンなどの売手側情報機器（売手側情報処理部）12a～12nが、インターネットや交換機網、または双方方向通信が可能な都市型CATVなどからなる通信網14に接続してある。また、通信網14には、複数の買手のそれぞれが有するパソコンなどの買手側情報機器（買手側情報処理部）16a～16nが接続してある。

【0017】さらに、仲介システム10は、売手と買手との間の商品取引を仲介する仲介者の仲介側情報処理部18が接続してある。仲介者は、売手および買手から独立した存在である、例えばインターネットの接続業者であるプロバイダまたは保証組合のような第三者機関などが運営する。また、詳細を後述するように、売手と買手とは、仲介側情報処理部18に会員登録をするることにより、商品取引が可能となる。そして、仲介側情報処理部18は、各種情報の入出力が可能なパソコンなどからなる仲介側情報機器20と、サーバ22とを有している。サーバ22は、売手側情報機器12が出力した商品情報、商品の販売情報、会員情報などを格納する記憶部（図示せず）を有し、売手と買手とが売手側情報機器12、買手側情報機器16を用いて通信網14を介してアクセスできるようにになっている。さらに、通信網14には、預託機関26が接続してある。この預託機関26は、例えば仲介者の取引銀行などの金融機関に設けた仲介者が管理する口座を有し、この口座に詳細を後述する買手の購入代金を預託するようにしてある。

【0018】商品取引仲介システム10は、さらに、複数の物流会社28（28a～28n）に設置してある情

報機器が接続してあるとともに、売手や買手が取引している複数の金融機関30（30a～30n）の情報機器（いずれも図示せず）が接続してある。物流会社28は、売手の販売する商品を保管、管理し、売手の発送要請により保管してある商品を指定された場所に発送したり配送したりする。また、金融機関30には、売手または買手の口座が開設してある。なお、預託機関26や金融機関30は、いわゆるバーチャルバンクであってもよい。

【0019】図2は、上記の商品取引仲介システム10による商品取引の基本的手順を示すフローチャートである。この仲介システム10により商品取引をしようとする会社や個人などの売手または買手は、図2のステップ40に示したように、まず、売手または買手のそれぞれに設置してある売手側情報機器12または買手側情報機器16を介して、仲介者側に設置されている仲介側情報処理部18に会員登録を行い、個々に識別番号を付与してもらう。この会員登録は、図3のようにして行う。

【0020】まず、仲介システム10を利用して商品の取引をしようとする者、すなわち会員になることを希望する者（会員希望者）は、売手側情報機器12または買手側情報機器16により、通信網14を介して仲介側情報処理部18のサーバ22に格納してあるホームページにアクセスする（ステップ41）。そして、ホームページの「会員登録」の項目をクリックすると、会員希望者の情報機器12または情報機器16に会員登録の入力画面が表示される（ステップ42）。

【0021】そこで、会員希望者は、表示された会員登録画面に従って必要な情報を入力する（ステップ43）。この会員登録のために入力する情報としては、会員希望者が個人の場合、例えば氏名、性別、生年月日、自宅住所、自宅の電話番号、ファクシミリ番号、電子メールのアドレス、パスポート番号または運転免許証の番号、所属する会社名、会社の住所、会社の電話番号、会員希望者の取引金融機関（商品購入代金の預託振替口座、または商品の販売代金の振込口座）などである。また、会員希望者が会社である場合、例えば会社名、会社の住所、電話番号、ファクシミリ番号、電子メールのアドレス、代表者名、設立年月日、資本金、業種、年間売上高、従業員数、担当者名、担当者の所属部署、取引金融機関（商品購入代金の預託振替口座、または商品の販売代金の振込口座）などを入力する。

【0022】これらの会員登録に必要な情報がすべて入力されると、仲介側情報機器20は、自動的に会員希望者に例えば会員番号（識別番号）を付与して会員としてサーバ22に登録し、この会員の情報番号、12または情報機器16に登録した旨と会員番号とを送信して表示する（ステップ44）。これにより、会員登録の手続きが終了する。以後、会員は、会員番号により仲介側情報処理部18と情報のやり取りを行なうことになる。

【0023】なお、本実施形態においては、会員番号の

みで、仲介側情報処理部18と情報のやり取りを行なうことで説明するが、これに限らず、会員登録の際に、仲介側情報機器20から会員登録者に会員番号とパスワードとを付与し、会員は会員番号とパスワードとによって仲介側情報処理部18と情報のやり取りを行なうようにしてもよい。

【0024】また、会員は、会員登録時に、商品の売買に関する仲介業務を仲介者に委託する契約を、別途またはオンラインで結ぶ。また、仲介者は、会員登録をした場合、会員が登録時に入力した取引金融機関との間で、自動引き落としの契約を予め行なっておく。

【0025】上記のようにして会員登録がなされたのち、商品取引をしようとする会員(売手または買手)は、図2のステップ50に示したように、仲介側情報処理部18のサーバ22に売買情報の登録をする。すなわち、売手(例えば、売手側情報機器12aの売手)は、販売する商品の種類や販売価格などの販売情報をサーバ22に登録する。また、買手(例えば、買手側情報機器16aの買手)は、買いたい商品の種類や購入希望価格などをサーバ22に登録する。売手による販売情報の登録は、図4、図5のようにして行なわれる。

【0026】図4が商品を売りたい人、すなわち売手と仲介者との間に行われる手続のフローチャートであり、図5が仲介側情報機器20による販売情報のサーバ22への登録手順を示したフローチャートである。

【0027】商品を売りたい場合、会員は、図4のステップ1aに示したように、仲介者のホームページにアクセスする。そして、会員は、売り情報の登録の項目をクリックしたのち(ステップ1b)、会員番号を入力する。仲介側情報機器20は、会員番号が入力されると、会員であるか否かを判断する(ステップ1c)。この会員であるか否かを識別する場合、会員になります者を排除するために、会員番号とともに例えばパスワードとして個人の生年月日や他の会員情報を入力させるようにしてもよい。そして、この会員番号以外の会員情報は、アクセスされる都度、サーバ22から自動的に入力すべき情報をランダムに選択して出力するようにしてもよい。

【0028】アクセスしてきた者が会員でない場合、受付を拒否してステップ1aに戻ってホームページを表示する。また、ステップ51cにおいて、アクセスした者が会員であると判断した場合、仲介側情報機器20は、ステップ51dに進んで売手側情報機器12aに売り情報を入力するための売り情報入力画面を表示する。売手は、表示された画面に従って商品に関する情報を入力する(ステップ51e)。この売り情報の入力画面は、例えば商品のカテゴリー(例えば、家庭電気用品、家具、食品等の種類)別にしてあり、カテゴリーから商品名を選択して入力する。そして、売手は、販売する商品のメーカー名、新品・中古の別、売価、数量、重量、大き

さなど、さらに必要があれば有効期間(取扱い期間)、提供可能地域(特に制限があれば)などを入力し、登録をクリックして売手による売り情報(販売情報)の入力を終了する。

【0029】仲介側情報機器20は、売手側情報機器12aが送信した販売情報を受信すると(図4ステップ52a)、この販売情報に、予め定めたカテゴリー別の識別番号を付与する(ステップ52b)。そして、仲介側情報機器20は、予め与えられているプログラムにより、入力された販売情報から、仲介者の手数料(管理費用)、物流費用などを加算した商品価格(買手の商品購入代金)を算出し(ステップ52c)、求めた商品価格を販売情報に含めてサーバ22に出力して記憶させ(ステップ52d)、販売情報の登録を終了する。この登録された販売情報は、セールス情報として買手に提供される。

【0030】一方、買手が商品を購入したい場合、上記と同様に仲介者のホームページにアクセスし、セールス情報をクリックする。そして、仲介側情報機器20は、買手が入力した会員番号により会員と認定すると、その買手の買手側情報機器16(例えば、買手側情報機器16a)にセールス情報の画面が表示する。買手がこのセールス情報に基づいて商品を購入する場合には、図2に示した詳細を後述する「合致情報の通知」のステップ60が省略される。すなわち、買手は、セールス情報が表示されると、購入したい商品のカテゴリーをクリックし、希望に合った販売条件の商品をクリックして選択し、発注する。この発注の詳細については、後述する図6のようにして行われる。

【0031】また、買手は、買いたい商品を登録することによって、希望する商品を選択することができる。この購入希望商品の登録は、ほぼ図4、図5と同様に行なわれる。すなわち、買手は、仲介者のホームページにアクセスして、買い情報の項目をクリックする。次に、会員番号を入力して会員として認定されると、買い情報の登録画面が表示され、会員と認定されなかった場合には、初期画面(ホームページ)に戻る。

【0032】会員と認定されて買い情報登録画面が表示されたならば、買いたい商品の情報、例えば商品名、希望するメーカー名、希望購入価格、新品・中古の別などを输入的。この買い情報は、仲介側情報処理部18のサーバ22に購入情報として登録、格納される。仲介側情報機器20は、購入情報が登録されると、図2のステップ60に示したように、予め与えられているプログラムに従ってセールス情報を検索し、購入情報と合致する販売情報を選択する。そして、仲介側情報機器20は、選択した販売情報を、商品の購入を希望している会員の買手側情報機器12aに送信して表示させる。買手は、表示された販売情報に基づいて発注を行なう。なお、購入情報に合致する販売情報を検索する場合、合致の範囲(例えば、希望購入価格に対する検索する価格の範囲)な

どは、予め設定しておく。

【0033】仲介側情報機器20は、上記のようにして売手または買手から売買情報が入力されると、サーバ22に登録されている売買情報の中から、それらの条件に合った売買情報を自動的に検索し、売買情報が一致すると、買手側情報機器16aに合致した商品の販売情報を通知する(ステップ60)。

【0034】買手は、通知された販売情報に関する商品を購入する場合、またはサービスを受けたい場合には、ステップ70に示したように、買手側情報機器16aを介して仲介側情報機器20に発注情報を送出する。

【0035】なお、買手に売買契約書を渡す場合、ステップ70において買手が商品の発注をしたときに、仲介側情報機器20がサーバ22に予め格納させておいた当該商品の売買契約書を買手側情報機器12に出力するか、または買手が後述するステップ100において商品を受領したときに売買契約書を渡す。そして、ステップ70において売買契約書を買手に渡した場合、買手は、買手側情報機器12aを介して売買契約書を受領した旨を仲介側情報処理部18に入力する。また、ステップ100において売買契約書を買手に渡した場合、物流会社28aが買手に売買契約書を渡した旨を仲介側情報処理部18に入力する。

【0036】仲介側情報処理部18の仲介側情報機器20は、買手が売買契約書を受領したことの通知を受けると、タイマを起動する。このタイマは、買手が発注の撤回(いわゆるクーリングオフ)をすることができる期間を計数するもので、当該日から八日目に計数を終了し、クーリングオフ期間が満了したことを買手側情報機器16aに通知する。

【0037】ステップ70の発注に伴う処理は、図6のようにして行われる。すなわち、会員(買手)が商品の発注を行なう場合、買手は、前述したように仲介者のホームページにアクセスして会員番号を入力して会員であることを確認してもらう。そして、図2のステップ60のように自己の買手側情報機器16aに表示された合致情報の中から、またはセール情報の中から、購入したい商品の番号をクリックして選択し、予め設定している発注行為を示す情報、例えば10#を入力する。この発注情報(発注信号)は、通信網14を介して仲介側情報機器20に受信される(図6ステップ71)。仲介側情報機器20は、発注信号を受信すると、ステップ72に示したように、買手側情報機器16aに対して発注を受理したことを通知し、また売手側情報機器12aに対して受注したことを受注情報として通知する。

【0038】その後、仲介側情報機器20は、買手に商品購入代金(売手の商品売価、仲介者の管理費用および物流費用を加算した金額)を仲介者の指定する口座(預託機関26)に振り込ませる。または予め登録されている買手の金融機関の口座に商品購入代金相当額が入金され

ているか否かを確認する(ステップ73)。そして、仲介側情報機器20は、買手の口座に購入代金相当額が入金されていると、仲介者が提携している金融機関(預託機関26)の口座に買手の口座から購入代金を振り替え(ステップ74)、商品購入代金を預託させる。一方、ステップ73において、買手の口座に入金されている金額(口座残高)が商品購入代金に満たない場合、ステップ75に示したように、代金が不足していることを買手側情報機器16aに通知し、購入代金を預託機関26に振り込むことを要請する。

【0039】なお、仲介側情報機器20は、ステップ73の代わりに、商品購入代金を預託機関26に振り込ませるように要請通知を行なうようにしてもよい。この場合も、ステップ73は省略される。

【0040】また、買手の口座の残高が購入代金に満たない場合、買手にその口座に購入代金を入金するように要請し、仲介側情報機器20は、一定期間(例えば一週間)の間、所定の時間ごとに、例えば6時間ごとに買手の口座の残高を調べ、この間に購入代金が入金されたことを確認するとステップ74に進み、予め定めた所定期間内に購入代金の入金がなかったときには、発注無効を買手側情報機器16aに通知するとともに、売手側情報機器12aに受注取り消し通知を送信するようにしてもよい。

【0041】このように、買手が商品の発注を行なった場合、買手から独立した仲介者が管理する口座に商品購入代金を預託できるようにしているため、売手が商品を買手に渡したときに、商品の代金を受け取れないようなことを防ぐことができる。また、買手は、売手から独立した仲介者の管理する口座に購入代金を預託することにより、購入代金を支払ったのに商品を受け取れないような事態を防ぐことができ、取引の安全性が確保されて通信網を利用した商品取引が活発化する。

【0042】なお、仲介側情報機器20は、買手がステップ71において商品の発注行為をしたときに、サーバ22に記憶されている売買契約書を買手側情報機器16a表示し、買手がその売買契約書に同意するか否かを入力させるようにしてもよい。そして、仲介側情報機器20は、買手が売買契約書に同意する情報、例えば12#を入力し、それを受信した場合、買手が発注を撤回することができる期間、いわゆるクーリングオフ期間を計数するためのタイマを起動する。買手がこのタイマの作動している間に、すなわちクーリングオフ期間が満了する前に、買手から発注を撤回する旨の情報、例えば21#の入力がない場合、この取引が正式に成立したことになる。

【0043】上記のように、ステップ74において購入代金の振り替えを行い、またはステップ75において買手に購入代金の振込みを要請し、購入代金が預託機関26の口座に振り込まれ、図2のステップ80のように購

入代金の預託が行われ、それが確認されると、仲介者の入力により、または自動的に仲介側情報機器20は、買手および売手に購入代金が預託されたことを通知する。さらに、仲介側情報機器20は、その商品の売手(売手側情報機器12a)、またはその売手から委託されている物流会社28(例えば物流会社28a)に商品の発送を要請する(ステップ90)。

【0044】その後、買手は、物流会社12aから商品を受領し、自己の発注した商品であるか否か、商品に瑕疵がないか否かを確認する。買手は、商品に特に問題がない場合、買手側情報機器16aを介して商品を受領した旨を仲介側情報機器20に入力する(ステップ100)。仲介側情報機器20は、買手側情報機器16aから商品を受領した旨の通知を受け取ると、ステップ110に示したように、仲介側口座26に預託されている商品購入代金から、売手の商品売価に相当する金額を売手の指定する金融機関の口座に、また商品の発送費用を物流会社28aの指定する金融機関の口座に、仲介者の管理費用を仲介者の口座に振り込み送金して決済を行なう。

【0045】また、買手は、商品を受け取ったときに、その商品に瑕疵があったり、その商品が自分の意図した商品でないため、売買中止(発注の撤回)の意思表示を示す情報、例えば21#を入力する。仲介側情報機器20は、買手側情報機器16aから売買中止の情報が入力すると、この商品の売買が不成立になったものとして、預託機関26に預託された購入代金を、購入代金を引き落とした買手の金融機関30の口座に返金する。さらに、仲介側情報機器20は、買手側情報機器16aと売手側情報機器12aとに、売買が不成立に終わったことを通知する。

【0046】なお、ステップ110の決済は、クーリングオフ期間が満了したとき、すなわち前記タイムがクーリングオフ期間を数計し終わったのちに行なうようにしてもよい。そして、本実施形態においては、買手が発注行為をして売買契約書を受領したときを、クーリングオフ期間の起算日とする場合について説明したが、クーリングオフ期間の起算日は、物流会社が商品を買手に手渡したときとしてもよい。

【0047】このように、ネット取引においてもいわゆるクーリングオフを行なえるようにしているため、消費者は安心して通信網14を利用した商品取引を行なうことができ、ネット取引の活性化を図ることができる。

【0048】

【発明の効果】以上に説明したように、本発明によれば、売手と買手から独立した仲介者の管理する口座に買手の商品購入代金を預託するようになっているため、買手が購入代金を支払ったのに商品を受け取れないなどの事態を避けることができ、通信網を利用した詐欺などの

被害にあうことがなく、買手(消費者)の保護が図れるとともに、商品取引の安全性を確保することができる。

【0049】また、仲介側情報処理部は、買手が商品を受領したとき、または商品を受領してから予め定めた期間が経過したときに、仲介者の口座に預託された商品購入代金から売手の商品の売価に相当する額を売手の指定する口座に移して決済を行なうようにしてあるため、売手は商品の売却による代金を確実に手に入れることができ、取引の安全性が担保される。さらに、仲介側情報処理部は、買手が商品購入代金の預託後の所定期間内(例えば買手が商品を受け取ってから八日以内など)に、買手側情報処理部が商品の売買中止情報を出力したときに、預託された商品購入代金を買手の指定する口座に返金するようにしてあるため、いわゆるクーリングオフを通信網上で実現することができ、買手(消費者)の保護が図れ、消費者は安心して取引をするため、通信網を利用した商品取引が活発となる。

【0050】そして、仲介側情報処理部は、売手側情報処理部から販売情報を受信したときに、販売情報に含まれている商品の売価に、所定の経費(例えば、商品の送料、取引の仲介手数料など)を加算した商品購入代金を演算して販売情報に書き込むようになっているため、買手は商品を購入する際に実際に支払う購入代金を容易に知ることができ、安心して取引をすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態に係る商品取引仲介システムの概略を示すブロック図である。

【図2】実施の形態に係る商品取引仲介システムによる商品取引の基本的手順を示すフローチャートである。

【図3】実施の形態に係る商品取引仲介システムに係る会員登録の手順を示すフローチャートである。

【図4】実施の形態に係る商品取引仲介システムにおける売り情報の入力手順を示すフローチャートである。

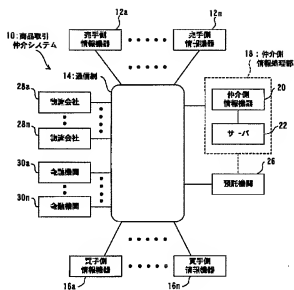
【図5】実施の形態に係る商品取引仲介システムにおける売り情報の登録手順を示すフローチャートである。

【図6】実施の形態に係る商品取引システムにおける商品購入代金の預託手続の手順を示すフローチャートである。

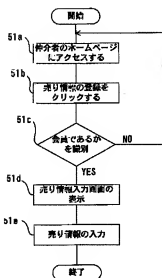
【符号の説明】

10	商品取引仲介システム
12a~12n	売手側情報処理部(売手側情報機器)
14	通信網
16a~16n	買手側情報処理部(買手側情報機器)
18	仲介側情報処理部
20	仲介側情報機器
22	サーバ
26	仲介者の管理する口座(預託機関)
28a~28n	物流会社
30a~30n	金融機関

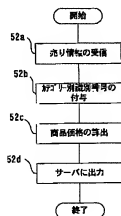
【図1】



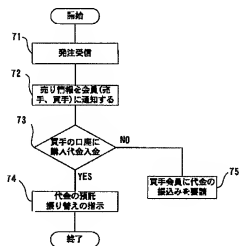
【図4】



【図5】



【図6】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷
G 0 7 F 19/00
17/40

識別記号

F I
G 0 6 F 15/30

(参考)

L
Z E C M
3 3 0
3 6 0
4 7 6

G 0 7 D 9/00

F ターム(参考) 3E040 CB01 EA01

5B049 AA05 BB11 BB46 CC05 CC36

DD01 FF03 FF04 GG04 GG07

5B055 CA00 CB00 CB09 EE02 EE03

EE04 EE21 EE27 FA05 FB03

HA04 MM19 MM20 PA05 PA22

PA34

9A001 BZ03 JJ64 JJ67 JZ19 JZ25